

WADA MOLDS INDUSTRY CO.,LTD.
COMPANY PROFILE



和田金型工業株式会社

人こそ会社の財。^{だから}「人の質」を高めることで、
精度の高い技術・製品を生み出し続けます。

和田金型工業株式会社
代表取締役

酒井 誠



金型は、母なる道具「マザーツール」とも言われる工業製品の基礎。金型から成形された何千何万という製品が、人々の暮らしを豊かにしていきます。

その金型を設計製作する当社では、常に人づくりを大切に考えてきました。

整理・整頓・清掃・清潔・躰、いわゆる5Sの中で、当社は「躰」を人づくりの重要項目と捉えて区別し、4S+1Sとして取り組んでいます。

人こそ会社の財。^{だから}機械も人の手で動かします。「人の質」が「会社の質」であり、「商品の質」となります。会社をともに創り、社員全員で育み合い、高め合う技術者集団を目指しています。

そして、JISQ9100認定企業として、製品の管理、書類の管理、また作業手順書の作成など、一人ひとりが高い意識を持ち責任を果たすとともに、会社全体としても品質を向上させる改善活動を常に行い、社会情勢の変化や、高い顧客要求に柔軟にお応えできる企業を目指します。

■ 経営理念

目的理念

私たちは、人々の生活をより豊かにするための製品開発・製造に携わることで社会に貢献します。

行動理念

私たちは、常にお客様の視点で考え、技術を追求し、変化し続けます。

福祉理念

私たちは、ものづくりを通じて社員ひとりひとりの成長と幸福の実現のために共育を実践していきます。

■ 社是

- 一、技道精進
- 一、質素儉約
- 一、工夫改善

■ 信念

できる できる 必ずできる
やる気があれば 必ずできる
できぬと思えば 絶対にできぬ
できぬと思わず できると信じ
私は いつまでも進歩したい
できる できる 必ずできる



設計・CAM・仕上げまで
金型づくり50年の総合力

当社は、時代のニーズに合わせて多種多様な金型づくりを行ってきました。金型の設計、CAD/CAMによるプログラムの構築、機械加工、仕上げまで、トータルなものづくりに実績があります。各工程で培われた総合技術力は、現在、機械加工・部品加工など高い精度が求められる製品づくりにも活かされており、常に最新技術を導入しています。



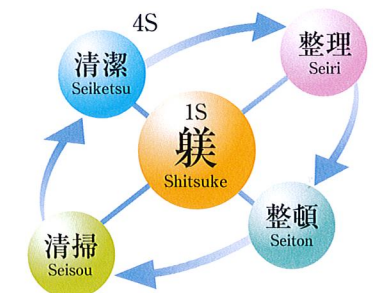
金型づくりで培われた
「匠の技」を若い世代に継承

自由曲線形状の金型づくりなど、当社は、技術者の勘所や微妙な手作業により、測定機器では数値化できないような満足度の高い品質を実現しています。今でもタガネやヤスリなどの道具を使いこなせる技術者を重用し、熟練の技術者から若い世代に技能継承することで、最高品質を追求しています。



明元素を取り入れて
信頼される人づくり

「ありがとう・できる・幸せだ…」といった「明るく・元気で・素直な言葉（明元素）」を多く使うことで、前向きな思考や良好なコミュニケーションが育まれます。「整理・整頓・清掃・清潔」の4Sを実行するのも「人」。朝の挨拶から人間関係の風通しをよくなり、安全・快適な環境や信頼関係を築くことで、日々、向上できる企業風土を創り出しています。



航空機部品等に対応できる最新設備を導入。 JISQ9100による品質管理も徹底しています。

設計

機械加工

仕上加工

組立

品質管理

主要設備

産業用ガスタービンのような大型で精度が求められる製品づくりにも対応できる設備を整えています。

■門型マシニングセンタ



■立形マシニングセンタ



MC (マシニングセンタ) オペレーション作業

■放電加工機



■CNCターニングセンタ



品質管理

JISQ9100に対応し、各技術者による全工程での記録を徹底。
三次元測定機による品質保証や、金型製作においては射出成形機により
テストモデルをつくるなど品質確認を行っています。

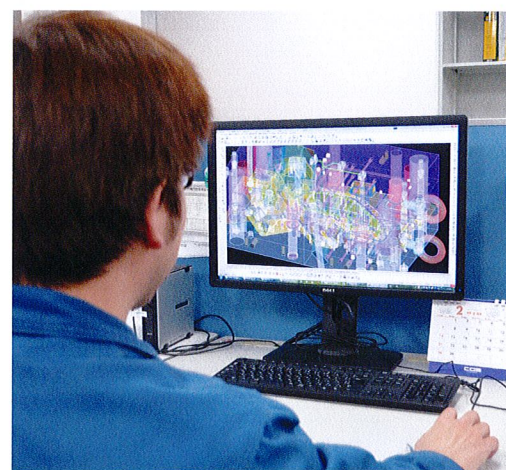
■三次元測定機



■射出成形機



設計製作



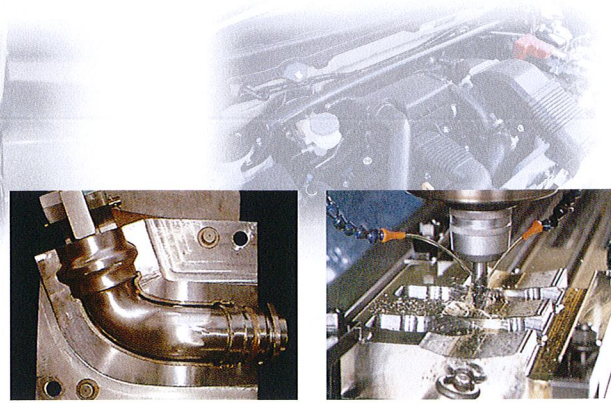
お客様の思いを形にするための設計図面の製作を行います。また、お客様からお預かりした設計図面をもとに、3次元CADによる金型や治具・測定具の設計や、CAMによる加工プログラミングを行います。



PRODUCTS

自動車部品金型

自動車の吸排気系金型は、エンジンフレームの隙間をぬった複雑な形状製品用の金型で、当社の主力製品のひとつです。試作ですが量産時の整合性を考え、そのまま実用段階に進めるレベルの設計を行っています。



新素材金型

プラスチック用・ゴム用金型（試作・量産）のほか、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）など新素材の研究・開発に関連する金型製作を行っています。

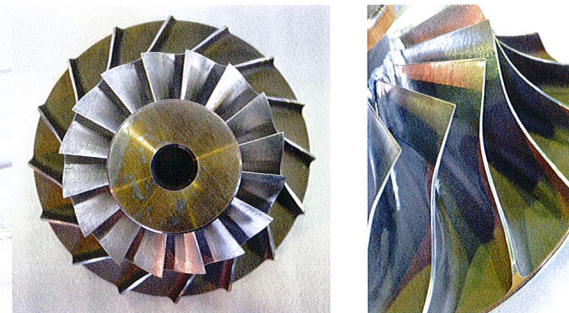
スキー靴金型

熟練の技術により、サイズごとに細やかな調整を行いながら製作します。女子モーグルで活躍した上村愛子元選手のスキー靴金型も当社で製作していました。



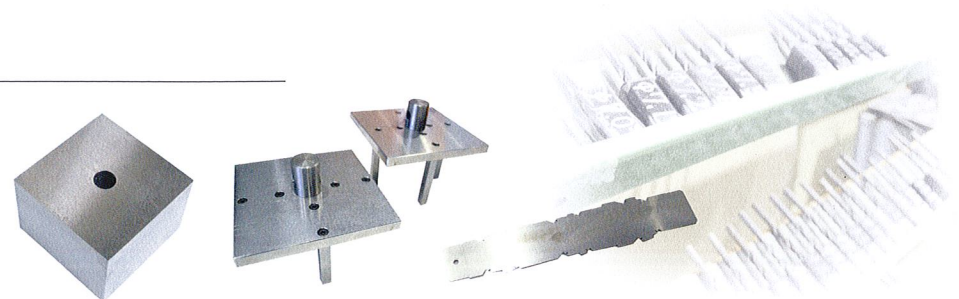
産業用ガスタービン

金型業だからこそできる少量多品種の部品加工。仕上まで含めた加工で、産業用ガスタービンや航空機部品など、より精度の高い製品づくりを目指します。



各種治具

お客様のご要望をお聞きして設計・製作します。



建替前の旧本社工場（1960年頃）



明石工場（1970年頃）



旧本社工場（1971年～1995年）



旧明石工場（1970年～2014年）



現西神工場（2014年～）

沿革

- 1922年（大正11） 和田半次郎が和田彫刻所を創業（神戸市林田区／現長田区）
- 1962年（昭和37） 和田金型工業株式会社に法人改組
- 1970年（昭和45） 神戸市垂水区（現西区）に工場建設
- 1971年（昭和46） 神戸市長田区に本社工場を建設
- 1970年代（昭和45～55頃） 一体成形サンダル、スキーブーツなどのプラスチック金型を開発（国内初）
- 1970年代（昭和45～55頃） 海外輸出が増える（東南アジア・中東・アフリカ）
- 1980年代（昭和55～平成2頃） カール・ルイスなど一流選手のスポーツ靴の金型を多数開発
- 1985年（昭和60） 平瀬清が社長に就任
- 1995年（平成7） 阪神淡路大震災により被災した長田区の本社工場を地元業者に提供神戸市西区を本社とし、事業を集約
- 1998年（平成10） 自動車部品の金型を主力に
- 2008年（平成20） ISO9001 認定取得
- 2012年10月（平成24） 和田金型工業株式会社50周年を迎える
- 2014年8月（平成26） 神戸市西区高塚台に全面移転JIS Q 9100 認定取得産業ガスタービン部品加工受注開始
- 2015年12月（平成27） 酒井誠 代表取締役役に就任

企業概要

- 社名 和田金型工業株式会社
- 代表者 代表取締役 酒井 誠
- 所在地 〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1-17
TEL 078-991-3521 FAX 078-991-3538
- 設立 1962年（昭和37年）10月
- 資本金 1,000万円
- 決算期 10月
- 社員数 正社員・パート・アルバイト 総数 36名（平成29年6月現在）
- 取引先 タイガースポリマー・レクザム・上村航機・川重明石エンジニアリング 他
- 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 みなと銀行 神戸信用金庫
- 業務内容 自動車吸気系部品および靴関連のプラスチック用金型（インジェクション、ブロー）、ゴム用金型の設計、製作試作加工（金属加工、射出成形）、治具の設計制作、機械の部品製作、産業ガスタービン部品加工



JIS Q 9100 認定取得企業
和田金型工業株式会社



和田金型工業株式会社

本社 〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1-17
 TEL.078 (991)3521 FAX.078 (991)3538
 E-mail info@wadakk.co.jp

<http://www.wadakk.co.jp>

